

第5回日本サービス大賞

優秀賞

映画公開日からバリアフリー全国上映を提供する「HELLO! MOVIE」で第5回日本サービス大賞優秀賞を受賞したハロームービー代表取締役社長の瀧川淳氏は生産性新聞のインタビューに応じた。日本の映画館のバリアフリー環境に革新をもたらした「HELLO! MOVIE」を世界中に広めることに意欲を示した。

サービス
イノベーションの
挑戦

【第16回】

ハロームービー（東京都）

■スマホと音声技術を連携 館で提供できる。

「HELLO! MOVIE」は、独自の音声通信技術を用いて、専用のアプリを映画館のスクリーンに投影されている作品に同期させることで、視覚障害者や聴覚障害者が全国の映画館で映画鑑賞を楽しむことができるサービスだ。アプリをダウンロードすることで、視覚障害者には「スマホで聴く音声」、聴覚障害者には「ARグラスで見る字幕」を、国内全ての映画館で映画鑑賞を楽しむことができるサービスだ。アプリをダウンロードすることで、視覚障害者には「スマホで聴く音声」、聴覚障害者には「ARグラスで見る字幕」を、国内全ての映画館で映画鑑賞を楽しむことができるサービスだ。

2023年12月にハロームービーが設立される15年近く前、親会社のエウィックホで聴く音声、聴覚障害者には「ARグラスで見る字幕」を、国内全ての映画館で映画鑑賞を楽しむことができるサービスだ。



瀧川 淳（たきがわ・あつし）
2003年、一橋大学商学部経営学科卒業。同年、韓国ITベンチャーWisehyunに参画後、2004年にITスタートアップのエウィックサーを設立。2008年以降、デジタルコンテンツ流通の隆盛をにらみ、業界に先駆けてACR（自動コンテンツ認識）技術、音声通信技術を開発。テレビ、映画、舞台、防災などの分野へ応用し、「スマホアプリを使ったバリアフリー上映」「字幕メガネ」を定着させる。23年カープアウトの形でハロームービーを設立。

マホが急速に普及。「スマホやテレビと連携させることができる」という漠然としたアイデアが浮かんでいた。そして、最先端の技術を開発しようと、2011年、米国で開催される世界最大級のテクノロジー・電子機器の見本市CES（コンシューマー・エレクトロニクス・ショー）に出かけた。当時のCESは、スマホをセカンドスクリーンと呼び、ファーストスクリーンであるテレビとの連携が話題だった。瀧川氏は「今こそテレビはインターネットと簡単につながるが、当時はアンテナでしかつながっておらず、音声技術は両者をつなぐ技術として注目されていた」と振り返る。

■障害者向けに活用

日本に帰ってから大手広告代理店を訪問し、音声技術を使ってテレビとスマホをつなぎ、テレビCMと連動するアイデアを実用化させた。「スマホアプリと連動させて、ゲームを楽しむ

映画のバリアフリーに革新

HELLO! MOVIEを活用した映画鑑賞のイメージ



仕組みが上手くいって、メジャーブランドのCMに採用された。

そして、2013年、このCMの企画が縁で、KADOKAWAのホラー映画「貞子3D2」の特殊効果に採用された。世界初の「スマ4D」と題し、上映中に無料アプリを起動させることで、音声認識で本編と連動した仕掛けが施された。

「映画のシーンとスマホの反応のタイミングが少しでもずれると、興ざめになってしまう。寸分のずれもなく同期させるほか、機内モードで動かすなど技術要件が非常に厳しく、当社の技術のブラッシュアップにつながった。

テーマパークのアトラクションのような臨場感で映画を楽しめる」と話題を集めた。その年の暮れ、4Dの制作秘話を語るシンポジウムに招かれた。そのシンポジウムの会場に足を運んでいたのが、メディア・アクセス・サポートセンターのセス・サポーターの界一だ」と胸を張る。

関係者だ。障害者にも映画や映像コンテンツを楽しむ環境を実現するために活動しているNPO法人で、「スマ4D」の仕組みに興味を持った。開催後に「障害者向けの環境整備にこの技術を活用できないか」と問いかけがあった。

動しているNPO法人で、「スマ4D」の仕組みに興味を持った。開催後に「障害者向けの環境整備にこの技術を活用できないか」と問いかけがあった。

瀧川氏は「技術開発に取り組む会社にとって、『この技術を活用したい』という申し出をいただくのは有難いこと」と話す。これがきっかけで、視覚・聴覚障害者が映画館で映画を楽しむ環境を実現するための開発を本格的に進めることになった。

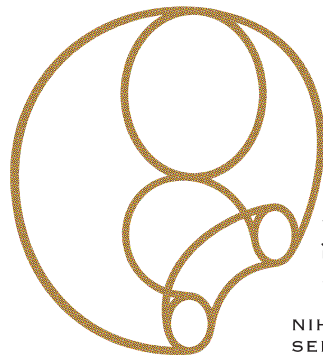
■世界一のバリアフリー 映画館での映画の楽しみ方は人それぞれだが、恋人や家族と一緒に、映画館での体験を共有したいという気持ちは、障害者も健常者も同じだ。障害者と健常者が一緒に映画館に登場した時、「HELLO! MOVIE」があれば、楽しいスタジオと交渉するなど、洋画の対応を増やしている。また、「鬼滅の刃」など日本発の世界的な作品も増えており、システムの海外展開にも力を入れている。

瀧川氏は「HELLO! MOVIE」を障害者対策だけに限定するのではなく、全ての人が映画を楽しむためのツールとして世界中に広めていきたい」と意欲を示している。

瀧川氏は「HELLO! MOVIE」を障害者対策だけに限定するのではなく、全ての人が映画を楽しむためのツールとして世界中に広めていきたい」と意欲を示している。

瀧川氏は「HELLO! MOVIE」を障害者対策だけに限定するのではなく、全ての人が映画を楽しむためのツールとして世界中に広めていきたい」と意欲を示している。

瀧川氏は「HELLO! MOVIE」を障害者対策だけに限定するのではなく、全ての人が映画を楽しむためのツールとして世界中に広めていきたい」と意欲を示している。

内閣総理大臣
表彰日本
サービス
大賞
NIHON
SERVICE
AWARD

個別相談会

9/2(水)～10/23(金)まで
毎週水～金曜に実施

日本サービス大賞の応募に関する事項について個別相談会を実施します。
応募説明会の質疑応答では聞きにくかった、個別の相談などもお受けいたします。

例 当社の〇〇サービスは応募に適しているか？
他組織と共同の事業は、どうやって応募するのか？ など

オンラインにて
1組織30分
(3名様まで)

第6回 日本サービス大賞 9月14日(月)より

応募受付中！

〈締切〉10月29日(木)15時まで

詳しい応募要領をHPで公開中です

日本サービス大賞

検索

<https://service-award.jp>

応募無料

「日本サービス大賞」を検索ください。

▶日本サービス大賞 Xアカウント
@ServiceAwardJP▶日本サービス大賞 Facebookページ
<https://www.facebook.com/ServiceAwardJP>▶日本サービス大賞 インスタグラム
@serviceaward_jp

後援

経済産業省／総務省／厚生労働省／農林水産省／国土交通省／内閣府／日本経済団体連合会／経済同友会／日本商工会議所／全国中小企業団体中央会／中小企業家同友会全国協議会／日本ニュービジネス協議会連合会
日本青年会議所／日本貿易振興機構／(一社)共同通信社／NHK／北海道生産性本部／東北生産性本部／中部生産性本部／関西生産性本部／中国生産性本部／四国生産性本部／九州生産性本部

主催 公益財団法人 日本生産性本部 サービス産業生産性協議会 (SPRING)

「日本サービス大賞」事務局 Email: service-award@jpc-net.jp